



## 相模原市立宮上小学校



郵便番号 252-0143  
所在地 相模原市緑区橋本4-11-1  
校長 林 由美子  
電話番号 042-773-8700  
FAX 042-779-4379  
交通 JR橋本駅から徒歩10分  
学校HP <http://www.sagamihara-miyakami-e.ed.jp/>

創 立 昭和54年4月1日（創立記念日 4月25日）

### 1 学校教育目標「豊かな感性で主体的に考え、たくましく実践する子の育成」

【 高め合う宮上小学校の教育 】

- 深く考えて学ぶ子（学びの楽しさを味わう子）
- すなおでやさしい子（心豊かな生き方を楽しむ子）
- 元気でしょうぶな子（チャレンジする楽しさを味わう子）
- すすんで活動する子（根気よく学ぶ子）

### 2 学校経営方針「いつも子どもが中心の学校」

- (1) 一人一人の児童理解を大切にし、子どもの良さや個性を認め伸ばす教育を行うことにより、個が生きる楽しい学校づくりを進める。
- (2) 教職員の資質と指導力の向上を目指し、子どもと共に伸び、和を大切に協働する教職員集団づくりを進める。
- (3) 家庭や地域の理解と協力による教育活動を推進するとともに、連携を大切にし、地域から信頼され、地域に根ざし開かれた学校づくりを進める。

### 3 平成30年度の重点目標と目標達成のための具体的な取り組み

#### I 授業研究の活性化【学びの楽しさ】

- ア 子どもの主体的な学びの定着を目指し、楽しく、わかる授業づくりに努める。
- イ 子どもの考え・意見を引き出す授業を追究し、学力の向上を図る。
- ウ 問題解決的な学習や体験学習を重視し、児童の主体的な活動に配慮し、集団での学び合いを深める。
- エ 発達障害と思われる児童に対する、支援教育の推進。
- オ TT指導を充実し、授業形態の多様化を図るとともに、個に応じたきめ細かな学習指導の改善に努め、児童が意欲的に自己の考えをもって活動することができるようにする。
- カ 具体的な子どもの姿を通して協議を深める。
- キ 積極的に外部講師を招聘する。

## Ⅱ 心のふれあいを充実する【心豊かな生き方】

- ア 全教育活動を通じて、生命を尊重する心や思いやりの心、倫理観や規範意識、自然に感動する心など、豊かな人間性と感性を備えた児童の育成に努める。
- イ いじめ・不登校をなくす、温かな学級経営・学校づくりに努める。  
子どもが積極的に関わる取り組みの強化。（いじめ問題への積極的な関わりを）
- ウ 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と道徳の時間の充実に努める。
- エ 子どもが主役となる教育活動の推進。

## Ⅲ 子どもの健康・安全を守る【チャレンジ】

- ア 生涯を通じて健康で安全な生活を送るため、自己の健康や体力に関心をもたせ、健康の保持・増進と体力や運動能力の向上を図る。
- イ 児童をめぐる様々な事件・事故の未然防止を図るとともに児童が自らの安全を確保できるよう、日常的にその指導に努める。（登下校指導の充実）
- ウ 潜在危険箇所の除去に努め、事故防止と安全意識の高揚を図る。

## **4 平成30年度の校内研究**

### (1) 研究主題

言葉を大切にして、共に学び合う子の育成  
～伝えあうことを通して自らの学びを深める国語科の授業づくり～

### (2) 校内研究を通してめざす児童像

友だちの意見に主体的に耳を傾けることによって、自らの考えを深めたり広げたりし、豊かに伝え合い、学び合う子

### (3) 昨年度の研究の成果と課題

「伝え合う必然性のある学習展開の工夫」「自らの学びを実感できるための工夫」「日常的な取組の充実」に重点を置き研究を進めてきた。

その結果、「話す・聞く態度の定着」が見られ、国語科の授業で獲得した伝え合う力を、他教科の学習で活用することができるようになる等の成果が見られた。

しかし、学年が上がるにつれて積極的に伝え合おうとする姿勢が弱くなってしまったため、今後も伝え合う必然性のある学習展開を工夫することにより、多くの児童が全体の中で自信をもって自分の考えを伝えられるような支援を考え行きたい。

また、個やグループでの学びをどのように学級全体で共有し深めていくのか、という点も課題として残ったので、その解決をめざし継続して取り組む必要がある。

### (4) 今年度の研究の視点

- 伝え合う必然性のある学習展開の一層の工夫
- 子どもに付けたい力とその力を付けるための言語活動の工夫
- 日常的な取組のさらなる充実